YAMAHA

ZC57920 JA

保証書付

PORTABLE PA SYSTEM

STAGEPAS 400i

取扱説明書

ごあいさつ

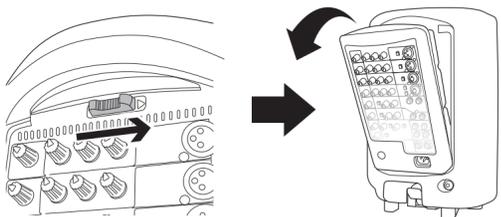
このたびは、ヤマハポータブルPAシステム STAGEPAS 400iをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。STAGEPAS 400iは、パワードミキサーと2台のスピーカーで構成されたオールインワンのPAシステムです。STAGEPAS 400iのさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

主な特長

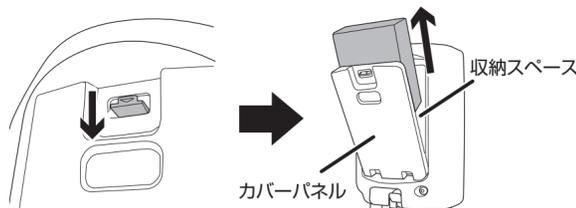
- あらゆるパフォーマンスをサポートする出力 400W のパワーアンプ。
- 高品位でパワフルなサウンドを実現する 8 インチ 2way バスレフ型スピーカー。
- さまざまな入力に対応する 8ch ミキサー (4 モノラルマイク / ライン + 2 ステレオライン)。
- 生演奏やボーカルに最適な SPX グレードの高品質なリバーブ。
- 不快なハウリングを自動的に抑えるフィードバックサプレッサー。
- iPod/iPhone のデジタル接続と充電に対応した USB 端子。

クイックスタートガイド

スピーカーとミキサーをつなぐ

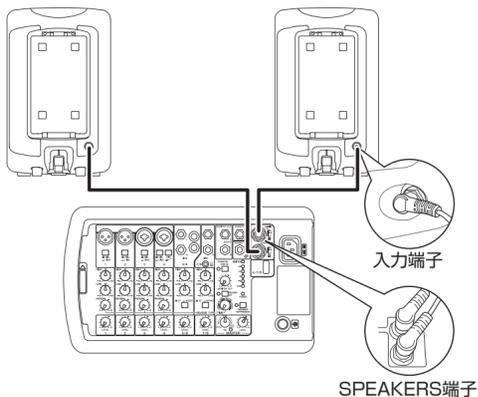
1 ミキサーのロックを矢印の方向へスライドさせて、スピーカーからミキサーを取り外します。

2 もう一方のスピーカーのカバーパネルを開けて、中の箱を取り出します。
箱の中にはスピーカーケーブル2本と電源コード1本が入っています。

収納スペース

カバーパネル

NOTE 箱を取り出したあとは、収納スペースに電源コード、スピーカーケーブル、取扱説明書(本書)、マイク(別売)などを収納できます。

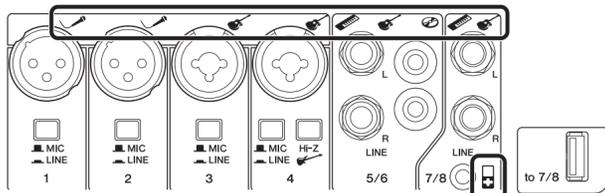
3 スピーカーとミキサーを接続します。
付属のスピーカーケーブルを使って、ミキサーのSPEAKERS端子(赤)とスピーカーの入力端子(赤)を接続します。スピーカーケーブルは下の図のように奥までしっかり差し込んでください。

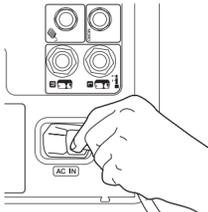
入力端子

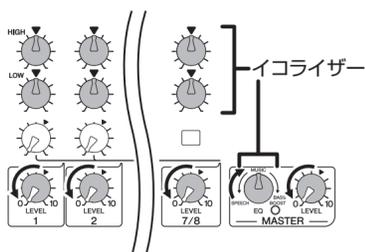
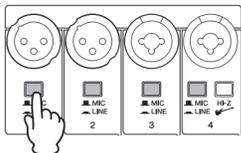
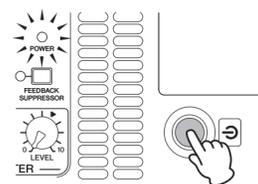
SPEAKERS端子

⚠注意

必ず付属のスピーカーケーブルをお使いください。他のケーブルを使うと、発熱やショートの原因になります。

ミキサーにマイク/楽器/オーディオ機器をつなぐ

4 マイクや楽器などを、ミキサーの入力端子に接続します。
ミキサー上のイラストや、カバーパネルの接続例を参考にしてください。

スピーカーから音を出す

5 付属の電源コードを接続します。
先にミキサーのAC IN に接続してから、コンセントに接続します。

6 MASTER LEVEL(赤のツマミ)とLEVEL(白のツマミ)を「0」に下げます。イコライザー(緑のツマミ)をセンター位置「▼」や「MUSIC」に合わせます。

イコライザー

7 マイクを接続したチャンネルのMIC/LINEスイッチはMIC (▆)に、楽器やオーディオ機器などを接続したチャンネルはLINE (▂)にします。

8 楽器やオーディオ機器などの電源をオンにしてから、ミキサーの電源をオンにします。
POWER LEDが点灯します。

9 MASTER LEVELを「▼」の位置に合わせます。

10 マイクや楽器で音を出しながら、LEVELで各チャンネルの音量を調節します。

11 MASTER LEVELで全体の音量を調節します。
音が出れば、準備は完了です。音が出ない場合は、裏面の「困ったときは？」のチェック項目をご確認ください。

NOTE 電源をオフにするときは、スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、ミキサー→楽器やオーディオ機器の順で電源をオフにしてください。

音量が大きすぎたり、小さすぎたりするときは？

音量が大きすぎるとき
いったんLEVELを「0」に下げます。MIC/LINEスイッチをLINE(▂)に切り替えてから、徐々にLEVELを上げて音量を調節します。

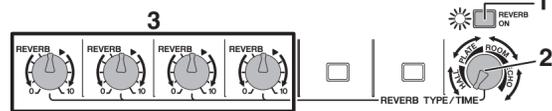
音量が小さすぎるとき
いったんLEVELを「0」に下げます。MIC/LINEスイッチをMIC(▆)に切り替えてから、徐々にLEVELを上げて音量を調節します。

リバーブをかける

STAGEPAS 400i はヤマハ マルチエフェクター SPX シリーズと同クラスのリバーブ (残響音 / エコー) を内蔵しています。以下の手順でリバーブをかけることによって、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような音の広がりや響きが得られます。

1 REVERBスイッチを押してオンにします。
オンのときにLEDが点灯します。

2 REVERB TYPE/TIMEのツマミの位置で、リバーブの種類と長さを設定します。
ツマミを右に回すほど、選んでいるリバーブの長さが長くなります。

3 REVERBで各チャンネルのリバーブの量を調節します。
必要に応じて手順2と3を繰り返し、最適なかかり具合を調節します。

ミキサーの各部の名称と機能

❶ マイク/ライン入力端子(チャンネル1～4)
マイク、ギター、電子楽器、オーディオ機器などを接続します。
チャンネル3と4はXLR、フォーンの両プラグに対応したコンボ端子です。

XLR　フォーン

❷ MIC/LINEスイッチ(チャンネル1～4)
マイクなど入力信号のレベルが低い機器を接続したチャンネルはMIC(▆)にします。電子楽器やオーディオ機器など入力信号のレベルが高い機器を接続したチャンネルはLINE(▂)にします。

❸ Hi-Zスイッチ(チャンネル4)
電池を使わないエレクトリックアコースティックギターやエレクトリックベースなどの、パッシブピックアップの楽器を接続するときにスイッチをオンにすると、DI(ダイレクトボックス)なしで直接ミキサーに接続できます。この機能はフォーンでの入力時のみ有効です。

❹ ライン(ステレオ)入力端子(チャンネル5/6、7/8)
電子楽器、エレクトリックアコースティックギター、CDプレーヤー、ポータブルオーディオプレーヤーなどラインレベルの機器を接続します。フォーン、RCAピン、ステレオミニのプラグに対応しています。

RCAピン　ステレオミニ

NOTE チャンネル5/6でフォーン端子とRCAピン端子に機器が同時に接続された場合は、フォーン端子が優先され、チャンネル7/8でフォーン端子とステレオミニ端子に機器が同時に接続された場合は、ステレオミニ端子が優先されます。もう一方の端子に接続された機器の信号はミュートされます。チャンネル7/8には❾のiPod/iPhoneからの信号が常にミックスされます。

❺ MONITOR OUT端子
モニター用のパワードスピーカーなどを接続します。チャンネル1～7/8の信号がミックスされて出力されます。出力レベルは、⓫のMONITOR OUTツマミで調節します。L(MONO)端子だけを使うと、LとRの信号がミックスされて出力されます。

❻ SUBWOOFER OUT端子
パワードサブウーファーを接続します。モノラル信号が出力されます。この端子が使われているときは、SPEAKERS L/R端子への120Hz以下の信号がカットされます。出力レベルは㉒のMASTER LEVELツマミと連動しています。

❼ REVERB FOOT SW端子
フットスイッチ(ヤマハFC5などのアンラッチタイプ)を接続します。リバーブのオン/オフを足元で切り替えできますので、ワンマンパフォーマンスのときに便利です。

❽ SPEAKERS L/R端子
付属のスピーカーケーブルを使って、スピーカーと接続します。

❾ USB端子
iPod/iPhoneをUSBケーブルで接続すると音楽再生と充電ができます。iPod/iPhoneからの音楽信号はチャンネル7/8にミックスされますので、チャンネル7/8のLEVELツマミで音量を調節します。
また、この端子からUSBデバイスへの5V電源供給ができます。ただし、iPod/iPhone以外のUSBデバイスからのデジタル再生には対応していませんので、チャンネル7/8のステレオミニ端子などをお使いください。

⚠注意
- **iPod/iPhoneの接続には、純正のApple Dock コネクタUSB ケーブルをお使いください。**
- **USBハブは使用しないでください。**

NOTE iPhoneを接続している場合、電話やメールを受信すると、その通知音がスピーカーから出ますので、iPhoneの「機内モード」をオンにしておくことをおすすめします。

❿ PHANTOM (CH1/2)スイッチ/LED
スイッチをオンにすると、LEDが点灯してチャンネル1と2にファンタム電源を供給します。コンデンサーマイクやDI(ダイレクトボックス)に電源供給するときは、このスイッチをオンにしてください。

⚠注意
本体および外部機器の故障やノイズを防ぐために、以下の点にご注意ください。
- **ファンタム電源が不要なときや、チャンネル1と2にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにする。**
- **スイッチをオンにしたまま、チャンネル1と2でケーブルの抜き差しをしない。**
- **チャンネル1と2のLEVELを最小にしてから、スイッチをオン/オフする。**

⓫ MONITOR OUTツマミ
❺のMONITOR OUT端子から出力される信号レベルを調節します。MASTER LEVELツマミの影響は受けません。

⓬ イコライザーツマミ(HIGH、LOW)
2バンドイコライザーで、各チャンネルの高音域(HIGH)と低音域(LOW)を調節します。ツマミをセンター位置(▼)にするとフラットな特性となります。ツマミを右に回すとその音域が強調されます。ハウリングする場合は、少し左に回してその音域を抑えます。

⓭ REVERBスイッチ/LED
スイッチをオンにするとLEDが点灯して、リバーブ(残響音/エコー)をかけることができます。電源を入れたときは、オフの状態になっています(他のスイッチとは異なりこのスイッチはロックしません)。

⓮ REVERB TYPE/TIMEツマミ
リバーブの種類と長さを調節します。ツマミを右に回すほど、選んでいるリバーブの長さが長くなります。
HALL: ホールなどの広い空間の響きをシミュレートしたリバーブです。
PLATE: 鉄板の響きをシミュレートしたリバーブです。硬めで明るい残響感が得られます。
ROOM: 小さな空間(部屋)の響きをシミュレートしたリバーブです。
ECHO: ボーカル用途に最適なエコーです。

⓯ REVERBツマミ(チャンネル1～4)
⓭のREVERBスイッチがオンの状態で、各チャンネルのリバーブの量を調節します。

⓰ ST/MONOスイッチ(チャンネル5/6、7/8)
ST (STEREO)(▆)にすると、L(左)とR(右)の信号がそれぞれ左右のスピーカーに割り振られて出ます。MONO(▂)にすると、LとRの信号がミックスされて左右どちらのスピーカーからも同じ音が出ます。ギターやモノラル出力のキーボードなど音源がステレオでない場合にMONO(▂)にすれば、ステレオ入力端子を複数のモノラル端子として活用できるので便利です。

⓱ LEVELメーター
SPEAKERS L/R端子から出力される信号のレベルを表示します。

⚠注意
LIMITER LEDが長い間点滅し続けるほど大音量でお使いになると、内蔵のパワーアンプに過大な負担がかかり、故障の原因になります。信号の最大入力時に一瞬点灯する程度以下になるように、MASTER LEVELツマミで音量を下げてください。

⓲ POWER LED
電源スイッチを押してオンにすると点灯します。

⓳ FEEDBACK SUPPRESSOR(フィードバックサプレッサー)スイッチ/LED
スイッチをオンにするとLEDが点灯して、ハウリング(フィードバック)を自動的に抑えることができます。(7バンドのノッチフィルターが動作します。このスイッチまたは電源スイッチをオフにすると、ノッチフィルターはリセットされます。)

⓴ LEVELツマミ
各チャンネルの音量を調節します。ノイズを減らすために、使わないチャンネルのツマミは最小「0」にしておいてください。

㉑ MASTER EQ(イコライザー)ツマミ
全体の音の周波数バランスを調節します。センター位置(MUSIC)を基本として左に回すと低音域が抑えられスピーチに適した特性になります。右に回すと低音域がブーストされ再生音源などに適した特性になります。さらに右に回していくと低音ブースト機能がオンになってLEDが点灯し、より迫力のある低音が得られます。

㉒ MASTER LEVELツマミ
SPEAKERS L/Rから出力される音量を調節します。各チャンネルの音量バランスを変化させることなく、全体の音量だけを調節します。

㉓ 通風孔
ミキサー内部の冷却ファン用の通風孔です。使用時はふさがないようにしてください。

㉔ AC IN端子
付属の電源コードを接続します。

㉕ ⏻(電源)スイッチ
電源をオン(▂)/オフ(▆)します。

⚠注意
- **電源のオン/オフを連続して素早く切り替えると誤動作の原因になることがありますので、電源をオフにしてから再度オンにする場合は、5秒以上の間隔を空けてください。**

困ったときは?

電源が入らない

- □ **電源コードを奥までしっかり差し込みましたか?**

突然、電源が切れた

- □ **ミキサーの通風孔をふさいでいませんか?**
  放熱が不十分でミキサーに熱がこもると、過熱保護のため電源が切れます。冷却用の通風を確保してから、再度電源を入れてください。

音が出ない

- □ **ミキサーのSPEAKERS端子とスピーカーの入力端子をスピーカーケーブルで接続しましたか?**
- □ **スピーカーケーブルを奥までしっかり差し込みましたか?**
- □ **本体スピーカー以外のスピーカーをミキサーのSPEAKERS端子に接続していませんか?**
  本体スピーカー(MODEL 400S)を接続してください。
- □ **付属のスピーカーケーブルを使っていますか?**
  市販のケーブルでコネクターのハウジングが金属のものをお使いになると、コネクターが他の金属に接触した場合に、回線がショートして音が出なくなることがあります。
- □ **POWER LEDが周期的に点滅していませんか?**
  スピーカーケーブルがショートしている場合があります。スピーカーケーブルが正しく接続されているか、傷がついていないかを確認してから、再度電源をオンにしてください。
- □ **チャンネル5/6でフォーン端子とRCAピン端子の両方に接続していませんか?**
  またはチャンネル7/8でフォーン端子とステレオミニ端子の両方に接続していませんか?
  チャンネル5/6ではフォーン端子、7/8ではステレオミニ端子が優先されます。
- □ **POWER LEDが連続して点滅していませんか?**
  内蔵のパワーアンプに過大な負荷がかかると、保護のためアンプがミュートして音が出なくなります。しばらくすると自動復帰します。

音が歪んだり、雑音が入る

- □ **各チャンネルのLEVELやMASTER LEVELが上がりすぎていませんか?**
- □ **MIC/LINEスイッチがMICになっていませんか?**
  音源からの入力レベルが大きい場合、MIC/LINEスイッチをMICにしていると、音が歪むことがあります。スイッチをLINEにしてみてください。
- □ **ミキサーに接続した機器のボリュームが大きすぎませんか?**
  外部機器のボリュームを下げてみてください。
- □ **スピーカーケーブルや電源コードが入力ケーブルの近くにありませんか?**
  入力ケーブルから離してください。

音が小さい

- □ **各チャンネルのLEVELやMASTER LEVELが下がりすぎていませんか?**
- □ **各チャンネルのMIC/LINEスイッチがLINEになっていませんか?**
  LEVELを「0」にしてからスイッチをMICに切り替えて、徐々にLEVELを上げてみてください。
- □ **ミキサーに接続した機器のボリュームが小さすぎませんか?**
  外部機器のボリュームを上げてみてください。
- □ **ファンタム電源が必要なマイクを使用している場合は、PHANTOMスイッチがオンになっていますか?**

高音・低音のバランスが悪い

- □ **イコライザーを上げすぎ、または下げすぎていませんか?**
  イコライザーをセンター位置にしてみてください。
- □ **スピーカーから高音域は出ていますか?**
  高音が出ていない場合は、注記の保護回路(ポリスイッチ)の項をご確認ください。

iPod/iPhone が認識されない

- □ **iPod/iPhoneは充電されていますか?**
  充電されていないと、認識されるまでに時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。

上記を確認しても、症状が改善しない場合は、
ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

スピーカースタンドへの取り付け

1 ロックレバーを上に上げた状態(解除)でスタンドに取り付けます。

2 ロックレバーを下に下げてスタンドに固定します。

1 解除
2 固定
ロックレバー

ブロック図

仕様

■ 一般仕様

最大出力(SPEAKERS L/R)
200 W + 200 W/4 Ω @ダイナミック at 1 kHz
180 W + 180 W/4 Ω @10 % THD at 1 kHz
≧125 W + 125 W/4 Ω @1 % THD at 1 kHz

周波数特性
-3 dB, +1 dB @40 Hz~20 kHz, 1 W 出力/4 Ω
(EQ and SP EQ を除く) (SPEAKERS L/R)
-3 dB, +1 dB @40 Hz~20 kHz, +4 dBu 10 kΩ Load
(MONITOR OUT)

全高調波歪率
≦0.5 % @20 Hz~20 kHz, +11 dBu 10 kΩ (MONITOR OUT)

ハム&ノイズ(Rs=150 Ω, MIC/LINEスイッチ=MIC)
≦-113 dBu 入力換算ノイズ (CH1~4)
≦-60 dBu 残留ノイズ (SPEAKERS L/R)

クロストーク(1 kHz)
≦-70 dB 入出力間

ファンタム電源
+30 V (CH1/2)

質量
17.8 kg (スピーカー7.5 kg x 2 + ミキサー2.8 kg)

同梱品
本体(スピーカー(MODEL 400S)2台、パワードミキサー1台)、カバーパネル1枚、電源コード(2m)1本、スピーカーケーブル(6m)2本、滑り止めパッド12枚、取扱説明書(本書)

電源電圧
100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力
30 W (Idle)、70 W (1/8出力)

入力チャンネルイコライザー特性
最大可変幅(±15 dB)
HIGH　8 kHz シェルビングタイプ
LOW　100 Hz シェルビングタイプ

対応iPod/iPhone (2012年8月現在)
iPod classic、iPod touch (第1~第4世代)、iPod nano (第2~第6世代)、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPhone
最新の対応モデルについては下記URLをご参照ください。
http://proaudio.yamaha.co.jp/

■ スピーカー(MODEL 400S)

エンクロージャー
2wayバスレフ型

スピーカーユニット
LF: 8" (20 cm)コーン
HF: 1" (2.54 cm)コンプレッションドライバー

クロスオーバー周波数
3.2 kHz

再生周波数帯域
55 Hz~20 kHz (-10 dB)

最大出力音圧レベル
125 dB SPL (実測値ピーク IEC ノイズ@1m)

指向角
水平90° 垂直60°

*仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

入力仕様

入力端子		MIC/LINE	入力インピーダンス	適合インピーダンス	入力レベル			端子仕様
					感度	ノミナル	最大ノンクリップ	
CH IN 1-2	XLR	MIC	3 kΩ	150 Ω Mics	-56 dBu	-35 dBu	-10 dBu	XLR-3-31タイプ
		LINE			-30 dBu	-9 dBu	+16 dBu	
CH IN 3-4	XLR	MIC	3 kΩ	150 Ω Mics	-56 dBu	-35 dBu	-10 dBu	XLRコンボ
		LINE			-30 dBu	-9 dBu	+16 dBu	
	Phone	MIC	10 kΩ (Hi-Z 1 MΩ)	150 Ω Lines (Hi-Z 10 kΩ)	-50 dBu	-29 dBu	-4 dBu	
		LINE			-24 dBu	-3 dBu	+22 dBu	
CH IN 5/6	Phone	-	10 kΩ	150 Ω Lines	-24 dBu	-3 dBu	+22 dBu	フォーン*
	Pin	-	10 kΩ	150 Ω Lines	-24 dBu	-3 dBu	+22 dBu	RCAピン
CH IN 7/8	Phone	-	10 kΩ	150 Ω Lines	-24 dBu	-3 dBu	+22 dBu	フォーン*
	Mini	-	10 kΩ	150 Ω Lines	-24 dBu	-3 dBu	+22 dBu	ステレオミニ

出力仕様

出力端子	出力インピーダンス	適合インピーダンス	出力レベル				端子仕様
			ノミナル	最大ノンクリップ	Typ at THD+N 10%	ダイナミック	
SPEAKERS OUT [L,R]	<0.1 Ω	4 Ω Speakers	37.5 W	125 W	180 W	200 W	フォーン*
MONITOR OUT [L,R]	600 Ω	10 kΩ Lines	+4 dBu	+20 dBu	-	-	フォーン*
SUBWOOFER OUT	150 Ω	10 kΩ Lines	-3 dBu	+17 dBu	-	-	フォーン*

0 dBu=0.775 Vrms、0 dBV=1 Vrms
フォーン*: アンバランス型

寸法図

ミキサー　**スピーカー**　単位:mm

マイクスタンドアダプター BMS-10A (別売)用ネジ穴

スタンド用穴 径34.8 - 35.2

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
⚠	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
(禁止記号)	~しないでくださいという「禁止」を示します。
(強制記号)	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

⚠ 警告

電源/電源コード

禁止 **電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。**
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

必ず実行 **電源はミキサーに表示している電源電圧で使用する。**
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります

必ず実行 **電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。**
故障、発熱、火災などの原因になります。
ただし、日本国外で使用する場合は、付属の電源コードを使用できないことがあります。お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

必ず実行 **電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。**
感電やショートのおそれがあります。

接続

必ず実行 **接地接続を確実に行なう。**
電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接地接続してください。確実に接地接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

分解禁止

禁止 **この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。**
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

水に注意

禁止 **この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。**
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
感電のおそれがあります。

火に注意

禁止 **この機器の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。**
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら

必ず実行 **下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
- 電源コード/プラグがいたんだ場合
- 製品から異常なにおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

必ず実行 **ミキサーを落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源/電源コード

必ず実行 **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。**
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行 **長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**
感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置

禁止 **不安定な場所に置かない。水平であっても落下する危険性のある場所には固定せずに置かない。**
この機器が転倒または落下して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止 **ミキサーの通風孔(放熱用スリット)をふさがない。**
内部の温度上昇を防ぐため、ミキサーの上面と側面には通風孔があります。特に、ミキサーをひっくり返したり、横倒しにしないでください。ミキサー内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

禁止 **風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。**
ミキサーまたはミキサーを取り付けたスピーカーを、壁やほかの機器から左右に30cm、後ろに30cm、上に30cm以上離してください。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

必ず実行 **スピーカーを横置きする場合は、ミキサーをスピーカーから取り外す。**
機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

禁止 **スピーカーの底面を持って運搬しない。**
スピーカーの底面に手をはさんで、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止 **塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。**
故障の原因になります。

必ず実行 **この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。**
ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行 **ミキサーを電源コンセントの近くに設置する。**
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続

必ず実行 **ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。**
感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

必ず実行 **ミキサーのSPEAKERS端子には、必ず付属のスピーカーケーブルを使って、スピーカー(MODEL 400S)を接続する。**
それ以外のケーブルおよびスピーカーを使うと、火災や故障の原因になることがあります。

手入れ

必ず実行 **この機器の手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**
感電の原因になることがあります。

取り扱い

禁止 **ミキサーの通風孔やパネル、スピーカーのバスレフポート(前面の穴)のすき間に手や指を入れない。**
お客様がけがをするおそれがあります。

禁止 **ミキサーの通風孔やパネル、スピーカーのバスレフポート(前面の穴)のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。**
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止 **この機器の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。**
この機器が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止 **大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。**
聴覚障害の原因になります。

禁止 **音がひずんだ状態ではこの機器を使用しない。**
機器が発熱し、火災の原因になることがあります。

禁止 **マイクなどのケーブルを引っ張らない。**
接続されたケーブルを引っ張ると、スピーカーやミキサーが転倒して破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

- ● データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- ● 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

(PA-1)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- この機器の上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- イコライザーやLEVELツマミをすべて最大には設定しないでください。接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になることがあります。
- ノイズの発生によるスピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にミキサーの電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にミキサーの電源を切ってください。
- **保護回路(ポリスイッチ)**
  スピーカーシステムには、自動復帰型ポリスイッチが内蔵されているため、過電流による故障から高音域ドライバーを保護します。スピーカーシステムのキャビネットから高音域が出力されない場合は、すぐにミキサーの電源を切り、ポリスイッチをリセットする(冷やす)ために、2~3分そのままにしてください。出力を下げてから再度電源を入れ、高音域ドライバーの出力を確認してください。続けてスピーカーを使用する場合は、ポリスイッチが作動しないレベルで使用してください。
- **携帯電話からの影響について**
  この機器のすぐ近くで携帯電話を使用すると、この機器にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で携帯電話をご使用ください。
- バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、この機器の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。
- 使用後は、必ず電源をオフにしましょう。

■ コネクターに関する注意

XLR タイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです (IEC60268 規格に基づいています)。
1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (−)

お知らせ

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- この製品は、JIS C 61000-3-2に適合しています。
- iPod™, iPhone™
  iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

Made for iPod iPhone

「Made for iPod/iPhone」とは、iPod および iPhone モデル専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。一部のアクセサリは、iPod および iPhone のワイヤレスパフォーマンスに影響する場合があります。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

保　証　書

持込修理

品　名	PORTABLE PA SYSTEM	
品　番	STAGEPAS 400i	
※シリアル番号		
保証期間	本　体	お買上げの日から 1 ケ年間
※お買上げ日	年　月　日	
お客様	ご住所 お名前　様 電　話　(　)	

ご販売店様へ　※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
ご依頼の際は、購入を証明する書類 (レシート、売買契約書、納品書など) をあわせてご提示ください。
(詳細は下項をご覧ください)

販売店		
	店　名	印
	所在地	
	電　話	(　)

ヤマハ株式会社 PA 事業部
〒 430-8650　静岡県浜松市中区中沢町 10 番 1 号

無償修理規定

1. 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
   (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (6) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

＊この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

※ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

●保証書
本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間
保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理
保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理
ご要望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。
有寿命部品の例
フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間
製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼
本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任
この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

●お客様ご相談窓口
アフターサービス以外で、製品に関するご質問・ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

◆修理に関するお問い合わせ
ヤマハ修理ご相談センター
ナビダイヤル(全国共通番号)　0570-012-808
市内通話料でOK ナビダイヤル
※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
上記番号でつながらない場合は
TEL 053-460-4830

受付時間　月曜日~金曜日　9:00~18:00、
土曜日　9:00~17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX　東日本(北海道/東北/関東/甲信越)
03-5762-2125
西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸)
06-6465-0367

◆修理品お持込み窓口
受付時間　月曜日~金曜日　9:00~17:45
(祝日および弊社休業日を除く)
* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒143-0006
東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

名古屋サービスステーション
〒454-0832
名古屋市中川区清船町4丁目1-11
ピアノ運送株式会社 名古屋営業所1F
FAX 052-363-5903

西日本サービスセンター
〒554-0024
大阪市此花区島屋6丁目2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX 06-6465-0374

九州サービスステーション
〒812-8508
福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
ヤマハビル2F
FAX 092-472-2137
*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

●お客様ご相談窓口: ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口
ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03-5791-7678　Fax: 03-5488-6663 (電話受付=祝祭日を除く月~金/11:00~19:00)
オンラインサポート: http://proaudio.yamaha.co.jp/

●営業窓口
国内営業本部 LM営業部 営業推進室
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
Tel: 03-5488-5430
*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:
http://proaudio.yamaha.co.jp/

ヤマハマニュアルライブラリー:
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

C.S.G., Pro Audio Division

2012年8月発行 208MWHD*.*-01A0
Printed in China